

# ビーリンサイト点滴静注用 35 $\mu$ g 一般使用成績調査

—再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病—

## 調査実施状況



抗悪性腫瘍剤/二重特異性抗体製剤 薬価基準収載

 **ビーリンサイト<sup>®</sup>** 点滴静注用  
35 $\mu$ g

プリナツモマブ(遺伝子組換え)凍結乾燥注射剤  
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること) **BLINCYTO<sup>®</sup>**

### 1. 警告

本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、造血器悪性腫瘍の治療に対して十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分に説明し、同意を得てから投与を開始すること。

### 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

## はじめに

平素は、ビーリンサイトの適正使用にご理解ならびにご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、実施しておりました一般使用成績調査が終了し、結果がまとまりましたのでご報告申し上げます。

日常診療の一助になりましたら幸いです。

今後も、引き続き、ご指導ならびにご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 一般使用成績調査(全例調査)

(集計対象期間:2018年11月27日~2022年7月29日)

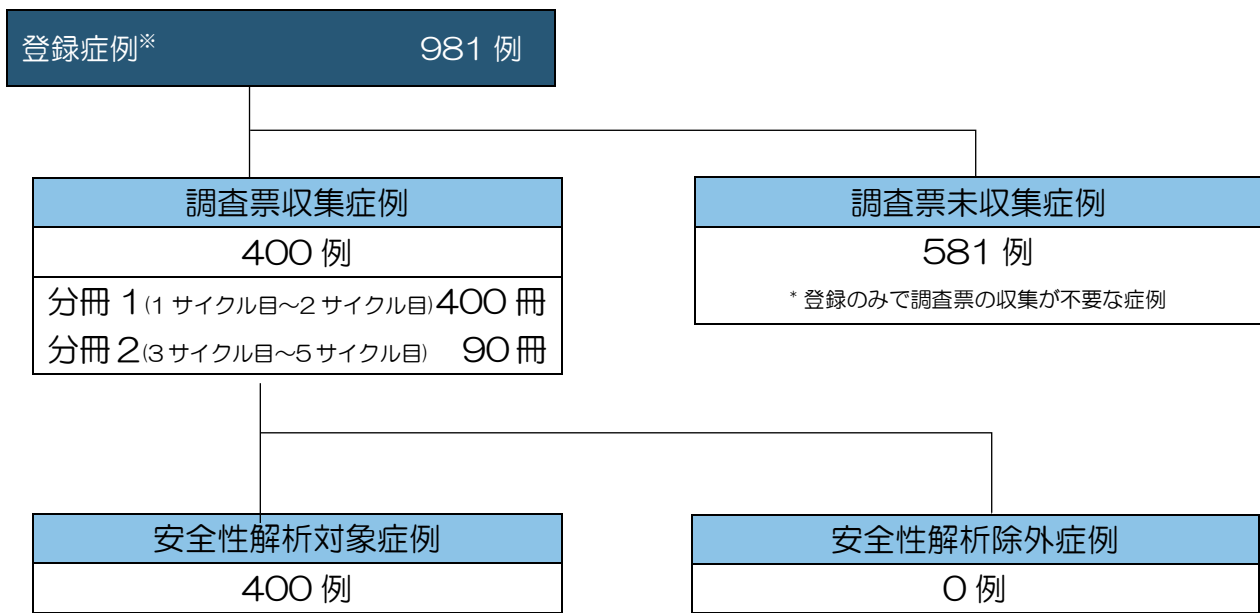
アムジェン株式会社  
アステラス製薬株式会社

I. 調査の概略	
調 査 名	ビーリンサイト点滴静注用 35 $\mu$ g 一般使用成績調査
調 査 の 目 的	<p>ビーリンサイト点滴静注用 35 <math>\mu</math>g（以下、本剤）投与による、神経学的事象発現のリスク因子の探索、サイトカイン放出症候群（CRS）に対して実施された処置内容及び各安全性検討事項の発現状況について検討する。</p> <p>&lt;安全性検討事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 重要な特定されたリスク 神経学的事象、サイトカイン放出症候群（CRS）、感染症、肺炎</li> </ul>
対 象 患 者	再発又は難治性の B 細胞性急性リンパ性白血病患者
用 法 及 び 用 量	<p>通常、プリナツモマブ（遺伝子組換え）として以下の投与量を 28 日間持続点滴静注した後、14 日間休薬する。これを 1 サイクルとし、最大 5 サイクル繰り返す。その後、プリナツモマブ（遺伝子組換え）として以下の投与量を 28 日間持続点滴静注した後、56 日間休薬する。これを 1 サイクルとし、最大 4 サイクル繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 体重が 45kg 以上の場合：1 サイクル目の 1～7 日目は 1 日 9 <math>\mu</math>g、それ以降は 1 日 28 <math>\mu</math>g とする。</li> <li>● 体重が 45kg 未満の場合：1 サイクル目の 1～7 日目は 1 日 5 <math>\mu</math>g/m<sup>2</sup>（体表面積）、それ以降は 1 日 15 <math>\mu</math>g/m<sup>2</sup>（体表面積）とする。ただし、体重が 45kg 以上の場合の投与量を超えないこと。</li> </ul>
調 査 方 法	中央登録方式による全例調査
症 例 登 録	本剤を投与した全ての患者について、契約締結後に本調査の目的及び内容、プライバシーの保護等の説明を実施した後、登録票を用いて、速やかに症例登録を行う。なお、本調査は本剤を投与された全症例を対象とした全例調査として実施するため、本剤納入後、医療機関との契約締結以前に投与開始された患者についても症例登録を受け付ける。
観 察 期 間	本剤の初回投与から 5 サイクル目終了時点まで
調 査 予 定 症 例 数	390 例（安全性解析対象集団として）
登 録 期 間	2018 年 11 月（本剤の販売開始日）～2024 年 3 月（全例調査の承認条件解除まで） ※2020 年 1 月末をもって登録のみ期間へ移行済み
調 査 期 間	2018 年 11 月（本剤の販売開始日）～2020 年 8 月（調査票回収対象症例の観察期間終了時期）
集 計 対 象 期 間	2018 年 11 月 27 日～2022 年 7 月 29 日
備 考	<試験計画登録・公開> EU PAS Register Number : EUPAS26530

EU PAS Register Number : EU の Post-Authorization Study (PAS : 市販後試験) データベースへの登録番号

ビーリンサイト点滴静注用 35  $\mu$ g 一般使用成績調査 実施要綱 (3.0 版) より抜粋

## Ⅱ. 症例構成



※：転院による再登録症例については、転院前後のデータを統合し、転院前の症例 1 例として集計した。

### Ⅲ. 患者背景

患者背景要因		全体		
		症例数 (%)		
安全性解析対象症例		400		
性別	男性	217	(54.25)	
	女性	183	(45.75)	
		妊娠 無	183	(100.00)
		妊娠 有	0	(0.00)
		授乳 無	183	(100.00)
授乳 有		0	(0.00)	
年齢1 [歳]	<18	103	(25.75)	
	18≦	297	(74.25)	
年齢2 [歳]	<1	5	(1.25)	
	1~17	98	(24.50)	
	18~39	83	(20.75)	
	40~64	121	(30.25)	
	65≦	93	(23.25)	
本剤の使用理由	再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病	393	(98.25)	
	その他	7	(1.75)	
本剤の使用経験	無	381	(95.25)	
	有	19	(4.75)	
B細胞性急性リンパ性白血病に対する本剤投与開始以前の治療歴	無	10	(2.50)	
	有	390	(97.50)	
ピーリンサイトの治療ライン数	1	10	(2.50)	
	2	72	(18.00)	
	3	92	(23.00)	
	4	75	(18.75)	
	5以上	151	(37.75)	
造血幹細胞移植歴	無	263	(65.75)	
	有	137	(34.25)	
ドナーとの関係性	自家移植	5	(1.25)	
	同種移植	131	(32.75)	
		HLA 適合血縁者	39	(9.75)
		HLA 適合非血縁者	30	(7.50)
		HLA 不適合血縁者	26	(6.50)
		HLA 不適合非血縁者	36	(9.00)
不明	1	(0.25)		

患者背景要因		全体		
		症例数 (%)		
移植に使用した細胞の由来	臍帯血	32	(8.00)	
	骨髄	54	(13.50)	
	末梢血幹細胞	51	(12.75)	
フィラデルフィア染色体検査	無	153	(38.25)	
	有	241	(60.25)	
		陰性	150	(37.50)
		陽性	91	(22.75)
	不明	6	(1.50)	
既往歴	無	283	(70.75)	
	有	117	(29.25)	
中枢神経系病変又は症状 (既往歴)	無	383	(95.75)	
	有	17	(4.25)	
肝機能障害 (既往歴)	無	382	(95.50)	
	有	18	(4.50)	
腎機能障害 (既往歴)	無	389	(97.25)	
	有	11	(2.75)	
上記以外の病歴 (薬剤アレルギー歴を含む) (既往歴)	無	311	(77.75)	
	有	89	(22.25)	
合併症	無	202	(50.50)	
	有	198	(49.50)	
中枢神経系病変又は症状 (合併症)	無	370	(92.50)	
	有	30	(7.50)	
肝機能障害 (合併症)	無	329	(82.25)	
	有	71	(17.75)	
腎機能障害 (合併症)	無	378	(94.50)	
	有	22	(5.50)	
上記以外の病歴 (薬剤アレルギー歴を含む) (合併症)	無	244	(61.00)	
	有	156	(39.00)	

#### IV. 本剤の投与状況

項目	全体	
	症例数 (%)	
安全性解析対象症例	400	
継続	29	(7.25)
中止・終了	371	(92.75)
1 サイクル	197	(49.25)
2 サイクル	118	(29.50)
3 サイクル	32	(8.00)
4 サイクル	16	(4.00)
5 サイクル	8	(2.00)
中止・終了理由の内訳	全体	
	症例数 (%)	
添付文書【用法・用量】に基づく変更/終了	180	(48.52)
有害事象発現	63	(16.98)
効果不十分	56	(15.09)
その他	71	(19.14)
不明	1	(0.27)

#### V. 副作用・感染症発現状況

副作用の重篤度別発現状況	全体		非重篤		重篤	
安全性解析対象症例	400					
副作用等の発現症例数	263		224		101	
副作用等の発現割合	65.75%		56.00%		25.25%	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数 (発現割合)					
感染症および寄生虫症	18	(4.50%)	12	(3.00%)	7	(1.75%)
菌血症	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
クロストリジウム・ディフィシレ大腸炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
带状疱疹	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
感染	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
中耳炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
肺炎	3	(0.75%)	2	(0.50%)	1	(0.25%)
敗血症	4	(1.00%)	0	(0.00%)	4	(1.00%)
敗血症性ショック	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
皮下組織膿瘍	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
B型肝炎再活性化	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)

副作用の重篤度別発現状況	全体		非重篤		重篤	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）					
感染性心膜炎	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
医療機器関連感染	2	(0.50%)	0	(0.00%)	2	(0.50%)
脳神経感染	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
カンジダ感染	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
血管デバイス感染	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
良性、悪性および詳細不明の新生物（嚢胞およびポリープを含む）	2	(0.50%)	0	(0.00%)	2	(0.50%)
治療抵抗性急性リンパ性白血病	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
急性骨髄性白血病への転化	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
血液およびリンパ系障害	33	(8.25%)	18	(4.50%)	17	(4.25%)
貧血	7	(1.75%)	6	(1.50%)	1	(0.25%)
凝血異常	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
播種性血管内凝固	5	(1.25%)	3	(0.75%)	2	(0.50%)
発熱性好中球減少症	15	(3.75%)	8	(2.00%)	7	(1.75%)
白血球減少症	2	(0.50%)	0	(0.00%)	2	(0.50%)
骨髄抑制	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
好中球減少症	3	(0.75%)	0	(0.00%)	3	(0.75%)
汎血球減少症	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
血小板減少症	2	(0.50%)	0	(0.00%)	2	(0.50%)
骨髄機能不全	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
免疫系障害	120	(30.00%)	100	(25.00%)	27	(6.75%)
移植片対宿主病	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
低γグロブリン血症	7	(1.75%)	6	(1.50%)	1	(0.25%)
サイトカイン放出症候群（CRS）	114	(28.50%)	96	(24.00%)	23	(5.75%)
皮膚移植片対宿主病	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
消化管移植片対宿主病	2	(0.50%)	0	(0.00%)	2	(0.50%)
内分泌障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
抗利尿ホルモン不適合分泌	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
代謝および栄養障害	9	(2.25%)	4	(1.00%)	5	(1.25%)
高アンモニア血症	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
高カリウム血症	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
高尿酸血症	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
低カリウム血症	2	(0.50%)	1	(0.25%)	1	(0.25%)
腫瘍崩壊症候群	4	(1.00%)	1	(0.25%)	3	(0.75%)
食欲減退	2	(0.50%)	1	(0.25%)	1	(0.25%)
精神障害	5	(1.25%)	5	(1.25%)	0	(0.00%)
錯乱状態	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
譫妄	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
失見当識	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)



副作用の重篤度別発現状況	全体	非重篤	重篤
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）		
不眠症	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
神経系障害	67 (16.75%)	52 (13.00%)	18 (4.50%)
意識変容状態	6 (1.50%)	4 (1.00%)	2 (0.50%)
失語症	4 (1.00%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)
浮動性めまい	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
ジスキネジア	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
全身性強直性間代性発作	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
頭痛	14 (3.50%)	14 (3.50%)	0 (0.00%)
感覚鈍麻	9 (2.25%)	8 (2.00%)	1 (0.25%)
意識消失	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
記憶障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
神経系障害	4 (1.00%)	1 (0.25%)	3 (0.75%)
末梢性ニューロパチー	3 (0.75%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)
視神経炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
末梢性感覚ニューロパチー	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
痙攣発作	6 (1.50%)	3 (0.75%)	3 (0.75%)
傾眠	2 (0.50%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)
会話障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
強直性痙攣	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
振戦	14 (3.50%)	13 (3.25%)	2 (0.50%)
硬膜炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
認知障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
神経学的症状	7 (1.75%)	2 (0.50%)	5 (1.25%)
言語緩慢	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
微細運動機能障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
味覚障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
眼障害	4 (1.00%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)
ドライアイ	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
異常3色覚	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
眼瞼腫脹	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
結膜充血	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
耳および迷路障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
耳鳴	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
心臓障害	4 (1.00%)	3 (0.75%)	2 (0.50%)
徐脈	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
洞性頻脈	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
心室性不整脈	1 (0.25%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)
心室細動	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)

副作用の重篤度別発現状況	全体		非重篤		重篤	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）					
血管障害	7	(1.75%)	7	(1.75%)	1	(0.25%)
毛細血管漏出症候群	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
潮紅	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
高血圧	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
低血圧	1	(0.25%)	1	(0.25%)	1	(0.25%)
出血	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
ほてり	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	14	(3.50%)	8	(2.00%)	6	(1.50%)
急性呼吸窮迫症候群	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
咳嗽	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
呼吸困難	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
しゃっくり	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
低酸素症	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
間質性肺疾患	2	(0.50%)	0	(0.00%)	2	(0.50%)
喉頭浮腫	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
閉塞性細気管支炎	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
胸水	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
器質化肺炎	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
口腔咽頭痛	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
肺陰影	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
胃腸障害	17	(4.25%)	16	(4.00%)	2	(0.50%)
肛門直腸障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
腹水	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
便秘	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
下痢	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
嚥下障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
腸炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
口唇腫脹	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
悪心	4	(1.00%)	4	(1.00%)	0	(0.00%)
口内炎	4	(1.00%)	4	(1.00%)	0	(0.00%)
嘔吐	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
腸間膜脂肪織炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
口腔粘膜紅斑	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
軟便	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
肝胆道系障害	18	(4.50%)	14	(3.50%)	4	(1.00%)
胆汁うっ滞	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
肝機能異常	14	(3.50%)	11	(2.75%)	3	(0.75%)
肝障害	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)

副作用の重篤度別発現状況	全体		非重篤		重篤	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）					
皮膚および皮下組織障害	14	(3.50%)	13	(3.25%)	1	(0.25%)
ざ瘡様皮膚炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
紅斑	4	(1.00%)	4	(1.00%)	0	(0.00%)
そう痒症	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
発疹	6	(1.50%)	5	(1.25%)	1	(0.25%)
丘疹性皮疹	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
筋骨格系および結合組織障害	11	(2.75%)	10	(2.50%)	1	(0.25%)
関節痛	5	(1.25%)	5	(1.25%)	0	(0.00%)
関節炎	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
背部痛	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
骨痛	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
筋肉痛	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
筋炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
四肢痛	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
腎および尿路障害	3	(0.75%)	1	(0.25%)	2	(0.50%)
血尿	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
膀胱障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
急性腎障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
一般・全身障害および投与部位の状態	97	(24.25%)	91	(22.75%)	6	(1.50%)
悪寒	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
顔面浮腫	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
異常感	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
歩行障害	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
注射部位出血	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
倦怠感	4	(1.00%)	3	(0.75%)	1	(0.25%)
浮腫	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
疼痛	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
発熱	86	(21.50%)	81	(20.25%)	5	(1.25%)
腋窩痛	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
注入部位反応	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
注入部位出血	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
臨床検査	70	(17.50%)	50	(12.50%)	39	(9.75%)
アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	10	(2.50%)	10	(2.50%)	0	(0.00%)
アミラーゼ増加	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	8	(2.00%)	8	(2.00%)	0	(0.00%)
抱合ビリルビン増加	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
血中アルブミン減少	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)

副作用の重篤度別発現状況	全体		非重篤		重篤	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）					
血中ビリルビン増加	3	(0.75%)	2	(0.50%)	1	(0.25%)
血中フィブリノゲン減少	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
血圧低下	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
C-反応性蛋白増加	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
CSF蛋白増加	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
全血球数異常	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
免疫グロブリン減少	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
リンパ球数減少	6	(1.50%)	3	(0.75%)	3	(0.75%)
好中球数減少	34	(8.50%)	13	(3.25%)	24	(6.00%)
血小板数減少	24	(6.00%)	15	(3.75%)	10	(2.50%)
体重増加	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
白血球数減少	21	(5.25%)	10	(2.50%)	11	(2.75%)
サイトメガロウイルス検査陽性	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
トランスアミナーゼ上昇	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
血中アルカリホスファターゼ増加	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
リンパ球形態異常	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
CD19リンパ球減少	3	(0.75%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
傷害、中毒および処置合併症	3	(0.75%)	2	(0.50%)	1	(0.25%)
転倒	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)
注入に伴う反応	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
製品の問題	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
医療機器閉塞	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)

投与中止に至った副作用についての集計は行っていない

## VI. 安全性検討事項について

安全性検討事項の副作用発現状況	全体		非重篤		重篤	
安全性解析対象症例数	400					
重要な特定されたリスク	安全性検討事項の発現症例数（発現割合）					
神経学的事象	66	(16.50%)	51	(12.75%)	17	(4.25%)
感染症	18	(4.50%)	12	(3.00%)	7	(1.75%)
サイトカイン放出症候群（CRS）	114	(28.50%)	97	(24.25%)	23	(5.75%)
肺炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)

投与中止に至った副作用についての集計は行っていない

サイトカイン放出症候群（CRS）に関連する有害事象*に対する治療薬		
安全性解析対象症例数	400	
サイトカイン放出症候群（CRS）に関連する有害事象*の発現症例数(%)	114	(28.50%)
治療薬の種類	使用症例数(%)	
副腎ホルモン剤	36	(31.58%)
解熱鎮痛消炎剤	24	(21.05%)
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	10	(8.77%)
抗ヒスタミン剤	2	(1.75%)
その他の中枢神経系用薬	1	(0.88%)
不整脈用剤	1	(0.88%)
利尿剤	1	(0.88%)
その他の循環器官用薬	1	(0.88%)
血液代用剤	1	(0.88%)
血液凝固阻止剤	1	(0.88%)
その他の生物学的製剤	1	(0.88%)
合成麻薬	1	(0.88%)

\* 本剤との因果関係を問わない

神経学的事象に関連する有害事象*に対する治療薬		
安全性解析対象症例数	400	
神経学的事象に関連する有害事象*の発現症例数(%)	81	(20.25%)
治療薬の種類	使用症例数(%)	
副腎ホルモン剤	11	(13.58%)
抗てんかん剤	6	(7.41%)
解熱鎮痛消炎剤	5	(6.17%)
その他の循環器官用薬	2	(2.47%)
抗ウイルス剤	2	(2.47%)
催眠鎮静剤、抗不安剤	1	(1.23%)
精神神経用剤	1	(1.23%)
鎮暈剤	1	(1.23%)

\* 本剤との因果関係を問わない

## Appendix：副作用の Grade 別発現状況について

副作用の重篤度別発現状況	全体	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4	Grade5*
安全性解析対象症例数	400					
副作用等の発現症例数	263	140	119	105	62	6
副作用等の発現割合	65.75%	35.00%	29.75%	26.25%	15.50%	1.50%
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）					
感染症および寄生虫症	18 (4.50%)	5 (1.25%)	6 (1.50%)	7 (1.75%)	2 (0.50%)	2 (0.50%)
菌血症	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
クロストリジウム・ディフィシル大腸炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
帯状疱疹	3 (0.75%)	1 (0.25%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
感染	2 (0.50%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
中耳炎	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
肺炎	3 (0.75%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
敗血症	4 (1.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)
敗血症性ショック	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
皮下組織膿瘍	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
B型肝炎再活性化	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
感染性心膜炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
医療機器関連感染	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
脳神経感染	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
カンジダ感染	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
血管デバイス感染	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
良性、悪性および詳細不明の新生物（嚢胞およびポリープを含む）	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)
治療抵抗性急性リンパ性白血病	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
急性骨髄性白血病への転化	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
血液およびリンパ系障害	33 (8.25%)	3 (0.75%)	6 (1.50%)	17 (4.25%)	9 (2.25%)	0 (0.00%)
貧血	7 (1.75%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	5 (1.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
凝血異常	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
播種性血管内凝固	5 (1.25%)	0 (0.00%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
発熱性好中球減少症	15 (3.75%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	13 (3.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
白血球減少症	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)
骨髄抑制	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
好中球減少症	3 (0.75%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)
汎血球減少症	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
血小板減少症	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)
骨髄機能不全	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
免疫系障害	120 (30.00%)	63 (15.75%)	39 (9.75%)	22 (5.50%)	5 (1.25%)	1 (0.25%)
移植片対宿主病	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)

\*Grade5 は副作用による死亡を示す

副作用の重篤度別発現状況	全体	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4	Grade5*	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）						
低γグロブリン血症	7 (1.75%)	2 (0.50%)	4 (1.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
サイトカイン放出症候群（CRS）	114 (28.50%)	61 (15.25%)	36 (9.00%)	19 (4.75%)	5 (1.25%)	0 (0.00%)	
皮膚移植片対宿主病	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
消化管移植片対宿主病	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
内分泌障害	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
抗利尿ホルモン不適合分泌	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
代謝および栄養障害	9 (2.25%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	5 (1.25%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	
高アンモニア血症	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
高カリウム血症	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	
高尿酸血症	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
低カリウム血症	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	
腫瘍崩壊症候群	4 (1.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	
食欲減退	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
精神障害	5 (1.25%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
錯乱状態	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
譫妄	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
失見当識	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
不眠症	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
神経系障害	67 (16.75%)	32 (8.00%)	19 (4.75%)	18 (4.50%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)	
意識変容状態	6 (1.50%)	0 (0.00%)	3 (0.75%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	
失語症	4 (1.00%)	2 (0.50%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
浮動性めまい	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
ジスキネジア	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
全身性強直性間代性発作	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	
頭痛	14 (3.50%)	11 (2.75%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
感覚鈍麻	9 (2.25%)	6 (1.50%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
意識消失	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
記憶障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
神経系障害	4 (1.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	
末梢性ニューロパチー	3 (0.75%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
視神経炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	
末梢性感覚ニューロパチー	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
痙攣発作	6 (1.50%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	3 (0.75%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	
傾眠	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
会話障害	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
強直性痙攣	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
振戦	14 (3.50%)	9 (2.25%)	2 (0.50%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
硬膜炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
認知障害	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	

副作用の重篤度別発現状況	全体	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4	Grade5*
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）					
神経学的症状	7 (1.75%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	5 (1.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
言語緩慢	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
微細運動機能障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
味覚障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
眼障害	4 (1.00%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
ドライアイ	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
異常三色覚	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
眼瞼腫脹	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
結膜充血	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
耳および迷路障害	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
耳鳴	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
心臓障害	4 (1.00%)	1 (0.25%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)
徐脈	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
洞性頻脈	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
心室性不整脈	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
心室細動	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
血管障害	7 (1.75%)	5 (1.25%)	2 (0.50%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
毛細血管漏出症候群	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
潮紅	2 (0.50%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
高血圧	2 (0.50%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
低血圧	1 (0.25%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
出血	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
ほてり	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
呼吸器、胸郭および縦隔障害	14 (3.50%)	2 (0.50%)	7 (1.75%)	3 (0.75%)	1 (0.25%)	2 (0.50%)
急性呼吸窮迫症候群	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)
咳嗽	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
呼吸困難	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
しゃっくり	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
低酸素症	3 (0.75%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
間質性肺疾患	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
喉頭浮腫	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
閉塞性細気管支炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
胸水	2 (0.50%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
器質化肺炎	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)
口腔咽頭痛	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
肺陰影	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
胃腸障害	17 (4.25%)	7 (1.75%)	7 (1.75%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
肛門直腸障害	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)

\*Grade5 は副作用による死亡を示す



副作用の重篤度別発現状況	全体		Grade1		Grade2		Grade3		Grade4		Grade5*	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）											
腹水	2	(0.50%)	0	(0.00%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
便秘	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
下痢	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
嚥下障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
腸炎	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
口唇腫脹	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
悪心	4	(1.00%)	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
口内炎	4	(1.00%)	1	(0.25%)	2	(0.50%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
嘔吐	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
腸間膜脂肪織炎	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
口腔粘膜紅斑	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
軟便	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
肝胆道系障害	18	(4.50%)	3	(0.75%)	3	(0.75%)	9	(2.25%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)
胆汁うっ滞	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
肝機能異常	14	(3.50%)	3	(0.75%)	3	(0.75%)	6	(1.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)
肝障害	3	(0.75%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	3	(0.75%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
皮膚および皮下組織障害	14	(3.50%)	11	(2.75%)	2	(0.50%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
ざ瘡様皮膚炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
紅斑	4	(1.00%)	4	(1.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
そう痒症	3	(0.75%)	1	(0.25%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
発疹	6	(1.50%)	5	(1.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
丘疹性皮膚疹	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
筋骨格系および結合組織障害	11	(2.75%)	6	(1.50%)	4	(1.00%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
関節痛	5	(1.25%)	3	(0.75%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
関節炎	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
背部痛	1	(0.25%)	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
骨痛	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
筋肉痛	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
筋炎	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
四肢痛	3	(0.75%)	2	(0.50%)	2	(0.50%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
腎および尿路障害	3	(0.75%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
血尿	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
膀胱障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
急性腎障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
一般・全身障害および投与部位の状態	97	(24.25%)	59	(14.75%)	37	(9.25%)	14	(3.50%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)
悪寒	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
顔面浮腫	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
異常感	1	(0.25%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)
歩行障害	1	(0.25%)	0	(0.00%)	1	(0.25%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)	0	(0.00%)

\*Grade5 は副作用による死亡を示す

副作用の重篤度別発現状況	全体	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4	Grade5*	
副作用等の種類	副作用等の種類別発現症例数（発現割合）						
注射部位出血	3 (0.75%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
倦怠感	4 (1.00%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
浮腫	3 (0.75%)	0 (0.00%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
疼痛	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
発熱	86 (21.50%)	50 (12.50%)	31 (7.75%)	12 (3.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	
腋窩痛	1 (0.25%)	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
注入部位反応	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
注入部位出血	2 (0.50%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
臨床検査	70 (17.50%)	15 (3.75%)	20 (5.00%)	31 (7.75%)	40 (10.00%)	0 (0.00%)	
アラニンアミノトランスフェラーゼ増加	10 (2.50%)	1 (0.25%)	3 (0.75%)	6 (1.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
アミラーゼ増加	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加	8 (2.00%)	2 (0.50%)	2 (0.50%)	4 (1.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
抱合ビリルビン増加	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
血中アルブミン減少	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
血中ビリルビン増加	3 (0.75%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
血中フィブリノゲン減少	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
血圧低下	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
C-反応性蛋白増加	3 (0.75%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
CSF蛋白増加	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
全血球数異常	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
γ-グルタミルトランスフェラーゼ増加	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
免疫グロブリン減少	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
リンパ球数減少	6 (1.50%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	3 (0.75%)	0 (0.00%)	
好中球数減少	34 (8.50%)	0 (0.00%)	5 (1.25%)	9 (2.25%)	24 (6.00%)	0 (0.00%)	
血小板数減少	24 (6.00%)	4 (1.00%)	5 (1.25%)	4 (1.00%)	12 (3.00%)	0 (0.00%)	
体重増加	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
白血球数減少	21 (5.25%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	7 (1.75%)	13 (3.25%)	0 (0.00%)	
サイトメガロウイルス検査陽性	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
トランスアミナーゼ上昇	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
血中アルカリホスファターゼ増加	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
リンパ球形態異常	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
CD19リンパ球減少	3 (0.75%)	1 (0.25%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
傷害、中毒および処置合併症	3 (0.75%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
転倒	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
注入に伴う反応	2 (0.50%)	0 (0.00%)	2 (0.50%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
製品の問題	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	
医療機器閉塞	1 (0.25%)	1 (0.25%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	

\*Grade5 は副作用による死亡を示す

# ビーリンサイト<sup>®</sup>点滴静注用35μg

プリナツモマブ(遺伝子組換え)凍結乾燥注射剤  
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

BLINCYTO<sup>®</sup>

貯法:2~8℃で保存 有効期間:60箇月

販売名	ビーリンサイト点滴静注用35μg
承認番号	23000AMX00811000
薬価収載	2018年 11月
販売開始	2018年 11月

## 1. 警告

本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、造血器悪性腫瘍の治療に対して十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分に説明し、同意を得てから投与を開始すること。

## 2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

## 3. 組成・性状

### 3.1 組成

販売名	ビーリンサイト点滴静注用35μg	1バイアル中の分量
有効成分	プリナツモマブ(遺伝子組換え) <sup>(注1)</sup>	38.5μg <sup>(注2)</sup>
添加剤	クエン酸水和物 トレハロース水和物 L-リシン塩酸塩 ポリソルベート80 pH調節剤	3.68mg 105.0mg 25.55mg 0.70mg 適量

注1)本剤は遺伝子組換え技術によりチャイニーズハムスター卵巣細胞を用いて製造される。

注2)調製時の損失を考慮に入れて過量充填されており、注射用水3mLで溶解したときに12.5μg/mLとなる。

添加剤	輸液安定化液	1バイアル中の分量
クエン酸水和物 L-リシン塩酸塩 ポリソルベート80 pH調節剤		52.5mg 2283.8mg 10mg 適量
全量		10mL

### 3.2 製剤の性状

性状	白色～灰白色の塊(凍結乾燥注射剤)。溶解後 <sup>(注3)</sup> は、無色～淡黄色の液である。
pH	7.0(溶解後 <sup>(注3)</sup> )
浸透圧	145～295mOsm(溶解後 <sup>(注3)</sup> )

注3)本剤1バイアルを注射用水3mLに溶解したとき。

## 4. 効能又は効果

### 再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病

### 5. 効能又は効果に関連する注意

臨床試験に組み入れられた患者の前治療歴等について、「17. 臨床成績」の項の内容を熟知し、本剤の有効性及び安全性を十分に理解した上で、適応患者の選択を行うこと。

## 6. 用法及び用量

通常、プリナツモマブ(遺伝子組換え)として以下の投与量を28日間持続点滴静注した後、14日間休薬する。これを1サイクルとし、最大5サイクル繰り返す。その後、プリナツモマブ(遺伝子組換え)として以下の投与量を28日間持続点滴静注した後、56日間休薬する。これを1サイクルとし、最大4サイクル繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。

- ・体重が45kg以上の場合：1サイクル目の1～7日目は1日9μg、それ以降は1日28μgとする。
- ・体重が45kg未満の場合：1サイクル目の1～7日目は1日5μg/m<sup>2</sup>(体表面積)、それ以降は1日15μg/m<sup>2</sup>(体表面積)とする。ただし、体重が45kg以上の場合の投与量を超えないこと。

## 7. 用法及び用量に関連する注意

- 7.1 本剤投与によりサイトカイン放出症候群が発現する可能性があるため、本剤投与前及び増量前はデキサメタゾン投与を行うこと。
- 7.2 副作用が発現した場合は、下表を参考に本剤の投与中止、中断又は用量調節を行うこと。副作用により投与を中断した後、投与再開する場合は、投与中断期間が7日以内のときは投与中断期間を含め28日間を同一サイクルとして投与し、投与中断期間が7日を超えたときは、新たなサイクルとして投与すること。投与中断期間が14日を超えた場合は、投与を中止すること。

副作用	グレード <sup>(注)</sup>	体重45kg以上の患者		体重45kg未満の患者	
		成人の場合：3 小児の場合：2又は3	回復するまで投与を中断すること。投与再開する場合は、1日9μgから開始し、CRSの所見が再度認められなかった場合には、8日目に以降に1日28μgに増量できる。	投与を中止すること。	回復するまで投与を中断すること。投与再開する場合は、1日5μg/m <sup>2</sup> (体表面積)から開始し、CRSの所見が再度認められなかった場合には、8日目に以降に1日15μg/m <sup>2</sup> (体表面積)に増量できる。
神経学的事象	4	投与を中止すること。			
神経学的事象	3	成人の場合：3 小児の場合：2又は3	グレード1以下が3日間継続するまで投与を中断すること。投与再開する場合は、1日9μgで投与中にグレード3以上の神経学的事象が発現した場合、又は回復までに8日間以上要した場合には投与を中止すること。	グレード1以下が3日間継続するまで投与を中断すること。投与再開する場合は、1日5μg/m <sup>2</sup> (体表面積)で投与中にグレード3以上の神経学的事象が発現した場合、又は回復までに8日間以上要した場合には投与を中止すること。	
	4	投与を中止すること。			
その他の副作用	3	グレード1以下になるまで投与を中断すること。投与再開する場合は、1日9μgから開始し、副作用が再度認められなかった場合には、8日目に以降に1日28μgに増量できる。		グレード1以下になるまで投与を中断すること。投与再開する場合は、1日5μg/m <sup>2</sup> (体表面積)から開始し、副作用が再度認められなかった場合には、8日目に以降に1日15μg/m <sup>2</sup> (体表面積)に増量できる。	
	4	投与を中止すること。			

注)グレードはNCI-CTCAEに準じる。

7.3 本剤と他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。

## 8. 重要な基本的注意

- 8.1 神経学的事象として痙攣発作があらわれることがある。痙攣発作の発現後、投与再開する場合は、抗痙攣薬の投与を考慮すること。[9.1.1、11.1.1参照]

- 8.2 神経学的事象として痙攣発作、意識障害等があらわれることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。
- 8.3 サイトカイン放出症候群があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び本剤投与中は定期的に血液検査等を行い、患者の状態を十分に観察すること。[11.1.3参照]
- 8.4 腫瘍崩壊症候群があらわれることがあるので、血清中電解質濃度及び腎機能検査を行う等、患者の状態を十分に観察すること。[11.1.4参照]
- 8.5 骨髄抑制があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び本剤投与中は定期的に血液検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。[9.1.2、11.1.5参照]

## 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

- 9.1 合併症・既往歴等のある患者
  - 9.1.1 急性リンパ性白血病の活動性中枢神経系病変を有する患者、及びてんかん、痙攣発作等の中枢神経系疾患を有する患者又はその既往歴のある患者  
神経学的事象の症状が悪化する又はあらわれるおそれがある。[8.1、11.1.1参照]
  - 9.1.2 感染症を合併している患者  
骨髄抑制により感染症が悪化するおそれがある。[8.5、11.1.5参照]
  - 9.1.3 治療前に骨髄中の白血球形芽球の割合が50%超又は末梢血中の白血球形芽球数が15,000/μL以上の患者  
副作用の発現を軽減するため、治療前にデキサメタゾンによる治療を行った後、本剤を投与することが望ましい。
- 9.4 生殖能を有する者  
妊娠する可能性のある女性には、本剤投与中及び投与終了後一定期間は適切な避妊を行うよう指導すること。[9.5参照]
- 9.5 妊婦  
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。本剤を用いた生殖発生毒性試験は実施されていない。本剤の妊娠中の曝露により胎児のリンパ球数が減少する可能性がある。[9.4参照]
- 9.6 授乳婦  
治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。本剤のヒト乳汁中への移行は不明であるが、ヒト乳は母乳中に移行することが知られている。
- 9.7 小児等  
低出生体重児及び新生児を対象とした臨床試験は実施していない。
- 9.8 高齢者  
患者の状態を十分に観察しながら慎重に投与すること。一般的に生理機能が低下している。

## 10. 相互作用

### 10.2 併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
生ワクチン又は弱毒生ワクチン	接種した生ワクチンの原病に基づく症状が発現した場合には、適切な処置を行う。	本剤のBリンパ球傷害作用により発病するおそれがある。

## 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

### 11.1 重大な副作用

- 11.1.1 神経学的事象  
脳神経障害、脳症、痙攣発作、錯乱状態、失語症等の神経学的事象(29.3%)があらわれることがある。痙攣発作の発現後、投与再開する場合は、抗痙攣薬の投与を考慮すること。[8.1、9.1.1参照]
- 11.1.2 感染症  
サイトメガロウイルス感染(1.1%)、肺炎(1.1%)、敗血症(0.9%)等の感染症(14.1%)があらわれることがある。[9.1.2参照]
- 11.1.3 サイトカイン放出症候群  
サイトカイン放出症候群(18.2%)があらわれることがあり、随伴徴候として、発熱、無力症、頭痛、低血圧、悪心、肝酵素上昇、播種性血管内凝固等があらわれることがある。また、infection reaction(63.6%)やアナフィラキシーショック(0.2%)があらわれることがある。[8.3参照]
- 11.1.4 腫瘍崩壊症候群(2.3%)  
異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置(生理食塩液、尿酸血症治療剤の投与、透析等)を行うとともに、症状が回復するまで患者の状態を十分に観察すること。[8.4参照]
- 11.1.5 骨髄抑制  
好中球減少(15.5%)、血小板減少(12.7%)、貧血(12.3%)、発熱性好中球減少症(12.3%)等があらわれることがある。[8.5、9.1.2参照]
- 11.1.6 肺炎  
肺炎(1.6%)があらわれることがあるので、患者の状態を十分に観察し、腹痛、血清アミラーゼ値の上昇等の異常が認められた場合には、投与中止、中断、減量等の適切な処置を行うこと。

### 11.2 その他の副作用

	5%以上	1～5%未満	1%未満
良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびポリープを含む)			白血病類外浸潤
血液およびリンパ系障害		凝血異常、国際標準比(INR)増加	好酸球増加
免疫系障害	免疫グロブリン減少		移植片対宿主病、過敏症
代謝および栄養障害		低カリウム血症、低リン酸血症、低アルブミン血症、食欲減退、低マグネシウム血症、体重増加、低カルシウム血症、水分過負荷、高カリウム血症、低ナトリウム血症	高血糖、尿酸血症、悪液質、体液貯留、高コレステロール血症、高トリグリセリド血症、血中ブドウ糖減少、総蛋白減少、血清フェリチン増加
神経系障害		末梢性ニューロパチー	筋緊張低下、脳虚血、頭蓋内出血、錐体路症候群、一過性脳虚血発作、CSF細胞数異常、CSFリンパ球数異常、CSF蛋白増加、脳液異常、神経学的検査異常
眼障害			眼瞼浮腫、結膜出血、眼痛、緑内障、眼充血、眼高周円浮腫、羞明、光視症、視力障害

	5%以上	1～5%未満	1%未満
耳および迷路障害			回転性めまい、耳鳴
心臓障害		頻脈	徐脈、心室機能不全、急性心筋梗塞、心房細動、心房粗動、心停止、うっ血性心不全、心電図QT延長
血管障害		潮紅、高血圧	ほてり、出血
呼吸器、胸郭および縦隔障害		呼吸困難、咳嗽、鼻出血	胸水、しゃっくり、低酸素症、肺水腫、頻呼吸、肺障害、胸膜炎、肺高血圧症、鼻漏、胸骨の炎症
胃腸障害		下痢、嘔吐、腹痛、口内炎、便秘	腹水、腹部膨満、胃炎、イレウス、大腸炎、口内乾燥、心窩部不快感、鼓腸、吐血、口の感覚鈍麻、口腔内出血、口腔知覚不全、腸壁気腫症
肝胆道系障害	高ビリルビン血症	肝障害	肝炎、胆汁うっ滞
皮膚および皮下組織障害		発疹、そう痒症	皮膚乾燥、脱毛症、ざ瘡様皮膚炎、皮膚潰瘍、アレルギー性皮膚炎、多汗症、糠疹、点状出血、皮膚色素過剰、皮膚病変、中毒性皮膚疹
筋骨格系および結合組織障害	筋骨格痛	骨痛、四肢痛	筋力低下、筋痙攣、頸痛、脊椎痛、関節炎、高クレアチニン血症、関節腫脹、運動性低下、筋緊張
腎および尿路障害			血中クレアチニン増加、乏尿、急性腎障害、高カルシウム血症性腎症、尿意切迫、ネフローゼ症候群、頻尿、蛋白尿、腎機能障害、尿閉
先天性、家族性および遺伝性障害			形成不全
生殖系および乳房障害			月経過多、性器浮腫、骨盤痛、経出血
一般・全身障害および投与部位の状態	疲労	悪寒、浮腫、倦怠感、疼痛	胸痛、C-反応性蛋白増加、歩行障害、粘膜炎、カテーテル留置部位関連反応、低体温、インフルエンザ様疾患、限局性浮腫、腰痛、活動性低下、不快感、熱感、高熱、多臓器機能不全症候群、穿刺部位紅斑、全身性炎症反応症候群
傷害、中毒および処置合併症			転倒、挫傷、肋骨骨折
その他		血中アルカリホスファターゼ増加	血中乳酸脱水素酵素増加

### 13. 過量投与

症状：18歳未満の患者において、1日30 $\mu$ g/m<sup>2</sup>(最大耐量/推奨用量を超える)を投与した1例に生命を脅かすサイトカイン放出症候群及び腫瘍崩壊症候群を伴う致死的な心不全が発現したとの報告がある。

### 14. 適用上の注意

#### 14.1 薬剤調製時の注意

- 14.1.1 注射用水3mLを本剤のバイアルの内壁に沿って無菌的に注入し、振らずに内容物を緩やかに攪拌し、溶解すること(溶解後の容量：3.1mL、最終濃度：12.5 $\mu$ g/mL)。
- 14.1.2 輸液安定化液を本剤の溶解に用いないこと。輸液安定化液は本剤が輸液バッグや輸液チューブに吸着するのを防ぐものである。
- 14.1.3 本剤を溶解した溶液に粒子状物質及び溶解中の変色がないか目視確認を行うこと。本剤の溶液は無色～淡黄色の液である。本剤の溶液が濁っている又は沈殿している場合は使用しないこと。
- 14.1.4 本剤はフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)(DEHP)と接触すると粒子を形成する可能性があるため、DEHPを含有する輸液バッグ、輸液ポンプのカセット、及び輸液チューブの使用は避けること。また、インラインフィルターは無菌でパイロジェンフリーかつ低タンパク質結合性のものを用いること。
- 14.1.5 輸液バッグに生理食塩液を全量として270mLとなるように調製する。
- 14.1.6 14.1.5の輸液バッグに輸液安定化液5.5mLを無菌的に加え、溶液が泡立たないよう緩やかに攪拌する。輸液安定化液の未使用残液は適切に廃棄すること。
- 14.1.7 表1、表2を参考に14.1.1で本剤を溶解したバイアルから必要量を取り出し輸液バッグに無菌的に加え、溶液が泡立たないよう緩やかに攪拌する。未使用残液は適切に廃棄すること。

表1 注射液の調製法の例示(体重45kg以上の患者)

生理食塩液 輸液安定化液	270mL 5.5mL		
用量	投与時間	注入速度	本剤溶解液注入量
1日9 $\mu$ g	24時間	10mL/時間	0.83mL
	48時間	5mL/時間	1.7mL
	72時間	3.3mL/時間	2.5mL
	96時間	2.5mL/時間	3.3mL
1日28 $\mu$ g	24時間	10mL/時間	2.6mL
	48時間	5mL/時間	5.2mL
	72時間	3.3mL/時間	8mL
	96時間	2.5mL/時間	10.7mL

表2 注射液の調製法の例示(体重45kg未満の患者)

生理食塩液 輸液安定化液	270mL 5.5mL			
用量	投与時間	注入速度	体表面積(m <sup>2</sup> )	本剤溶解液注入量
1日5 $\mu$ g/m <sup>2</sup>	24時間	10mL/時間	1.5-1.59	0.7mL
			1.4-1.49	0.66mL
			1.3-1.39	0.61mL
			1.2-1.29	0.56mL
			1.1-1.19	0.52mL
			1-1.09	0.47mL
			0.9-0.99	0.43mL
			0.8-0.89	0.38mL
			0.7-0.79	0.33mL
			0.6-0.69	0.29mL
	0.5-0.59	0.24mL		
	0.4-0.49	0.2mL		
	48時間	5mL/時間	1.5-1.59	1.4mL
			1.4-1.49	1.3mL
			1.3-1.39	1.2mL
			1.2-1.29	1.1mL
			1.1-1.19	1mL
			1-1.09	0.94mL
			0.9-0.99	0.85mL
			0.8-0.89	0.76mL
0.7-0.79			0.67mL	
0.6-0.69			0.57mL	
0.5-0.59	0.48mL			
0.4-0.49	0.39mL			

用量	投与時間	注入速度	体表面積(m <sup>2</sup> )	本剤溶解液注入量
1日5 $\mu$ g/m <sup>2</sup>	72時間	3.3mL/時間	1.5-1.59	2.1mL
			1.4-1.49	2mL
			1.3-1.39	1.8mL
			1.2-1.29	1.7mL
			1.1-1.19	1.6mL
			1-1.09	1.4mL
			0.9-0.99	1.3mL
			0.8-0.89	1.1mL
			0.7-0.79	1mL
			0.6-0.69	0.86mL
	0.5-0.59	0.72mL		
	0.4-0.49	0.59mL		
	96時間	2.5mL/時間	1.5-1.59	2.8mL
			1.4-1.49	2.6mL
			1.3-1.39	2.4mL
			1.2-1.29	2.3mL
			1.1-1.19	2.1mL
			1-1.09	1.9mL
			0.9-0.99	1.7mL
			0.8-0.89	1.5mL
0.7-0.79			1.3mL	
0.6-0.69			1.2mL	
0.5-0.59	0.97mL			
0.4-0.49	0.78mL			
1日15 $\mu$ g/m <sup>2</sup>	48時間	5mL/時間	1.5-1.59	2.1mL
			1.4-1.49	2mL
			1.3-1.39	1.8mL
			1.2-1.29	1.7mL
			1.1-1.19	1.6mL
			1-1.09	1.4mL
			0.9-0.99	1.3mL
			0.8-0.89	1.1mL
			0.7-0.79	1mL
			0.6-0.69	0.86mL
	0.5-0.59	0.72mL		
	0.4-0.49	0.59mL		
	72時間	3.3mL/時間	1.5-1.59	6.3mL
			1.4-1.49	5.9mL
			1.3-1.39	5.5mL
			1.2-1.29	5.1mL
			1.1-1.19	4.7mL
			1-1.09	4.2mL
			0.9-0.99	3.8mL
			0.8-0.89	3.4mL
0.7-0.79			3mL	
0.6-0.69			2.6mL	
0.5-0.59	2.2mL			
0.4-0.49	1.8mL			
96時間	2.5mL/時間	1.5-1.59	8.4mL	
		1.4-1.49	7.9mL	
		1.3-1.39	7.3mL	
		1.2-1.29	6.8mL	
		1.1-1.19	6.2mL	
		1-1.09	5.7mL	
		0.9-0.99	5.1mL	
		0.8-0.89	4.6mL	
		0.7-0.79	4mL	
		0.6-0.69	3.4mL	
0.5-0.59	2.9mL			
0.4-0.49	2.3mL			

- 14.1.8 本剤を注射用水で溶解後、すぐに使用しない場合は、溶液を冷蔵保存(2～8℃、遮光)し、凍結させないこと。冷蔵保存する場合は24時間を超えないこと。
- 14.1.9 輸液バッグ中で調製後、室温では投与時間も含めて4日間を超えないこと。すぐに投与開始しない場合は、溶液を冷蔵保存(2～8℃、遮光)すること。冷蔵保存する場合は10日間を超えないこと。
- 14.2 薬剤投与時の注意
  - 14.2.1 過量投与等の原因となるため、輸液バッグ交換時や投与終了時に投与ラインや静脈カテーテルをフラッシュしないこと。
  - 14.2.2 輸液バッグから空気を抜き、無菌のインラインフィルター(0.2 $\mu$ m)を接続した輸液ポンプを用いて、表1、表2に示す注入速度に従い、流速を適切に管理可能な輸液ポンプを用いて持続点滴静注する。調製した溶液のみで輸液チューブをプライミングすること(生理食塩液ではプライミングしないこと)。
  - 14.2.3 マルチルーメン静脈カテーテルを用いる際には、本剤専用のルーメンから投与すること。

### 15. その他の注意

#### 15.1 臨床使用に基づく情報

臨床試験において、本剤に対する抗体の産生が報告されている。

### 20. 取扱い上の注意

本剤は外箱に入れた状態で保存すること。外箱開封後は遮光して保存すること。

### 21. 承認条件

- 21.1 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。
- 21.2 国内での治験症例が極めて限られていることから、製造販売後、一定数の症例に係るデータが集積されるまでの間は、全症例を対象に使用成績調査を実施することにより、本剤使用患者の背景情報を把握するとともに、本剤の安全性及び有効性に関するデータを早期に収集し、本剤の適正使用に必要な措置を講じること。

### 22. 包装

1/バイアル(輸液安定化液10mL 1/バイアル添付)

2021年5月改訂(第2版)

■「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等の詳細は、電子化された添付文書をご参照ください。なお、このDIIは印刷日現在の電子化された添付文書に準じたものです。改訂にご留意ください。

製造販売 **アムジェン株式会社**  
東京都港区赤坂九丁目7番1号

【文献請求先及び問い合わせ先】メディカルインフォメーションセンター 0120-790-549

発売 **アステラス製薬株式会社**

東京都中央区日本橋本町2-5-1

【文献請求先及び問い合わせ先】メディカルインフォメーションセンター ☎ 0120-189-371

【医薬品情報サイト】 <https://amn.astellas.jp/>

(23年7月作成) EPS-NS

BLC34001Z04

BLN230017EP1